

会合

令和3年度 ASEAN 向け省エネ支援事業の ECAP25 を実施しました

【事業概要】

一般財団法人省エネルギーセンター（ECCJ）は、資源エネルギー庁の委託を受けて、「令和3年度の ASEAN に対する省エネ人材育成事業」のスキーム2（エネルギー管理士の指導者の養成や認定制度の整備・改善を行うプログラム）を実施しています。その一環として、2022年2月15、16、17、18日の4日間で、オンラインで ECAP25 を実施しました。

- (1) エネルギー管理制度、エネルギー管理システム構築手法、熱技術・設備および電気技術・設備の省エネの講義と演習、ビルの省エネの講義
- (2) 民間企業による日本の省エネ新技術紹介とリモート工場見学
- (3) 理解度試験を実施し、タイの試験結果・診断レポート・診断結果のプレゼンの評価を合わせて総合評価して、トレーナーの認定を実施



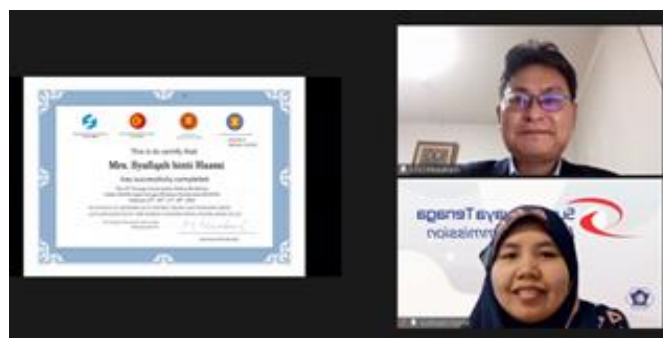
ECCJ からの参加



ASEAN からの参加者



リモート工場見学（三浦工業）



オンライン修了証授与

【成果概要】

「令和3年度の ASEAN に対する省エネ人材育成事業」のスキーム2プログラムの一環で、受入研修 ECAP25 をオンラインで実施しました。ASEAN 各国からエネルギー管理士トレーナー候補の17名、ACE から1名の合計18名が参加し、2月15日から18日の4日間でエネルギー管理、熱技術・設備および電気技術・設備の講義と演習、ビルの省エネの講義と日本の省エネ新技術の紹介を行ったうえで、研修の最後に理解度確認試験を実施しました。

- (1) ECAP25 は令和2年度に引き続きオンラインでの実施となりましたが、令和2年度の経験を生かした内容で、省エネ技術講座・試験結果を通じた参加者の理解度は、ほぼ従来のリアルな研修と同様の結果を確認することができました。
- (2) 日本の省エネ新技術紹介、ZEB の見学およびボイラーの立ち上げシミュレーションの実演を初めてリモートで実施しました。工場見学ではリアルな見学では見えづらい箇所や立ち入りが必要な場所の見学が可能となり、リモート見学の有効性が確認できました。
- (3) 理解度確認試験は、参加者18名のうち13名が合格しました。内6名の成績優秀者は、2022年9月の ASEAN エネルギー大臣会合（AMEM）で表彰する予定です。